



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き医療人の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

新年のご挨拶

昭和大学 歯学部長 榎 宏太郎

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

この歯科病院だよりも記念すべき第200号となりました。馬場病院長をはじめ、毎月の発刊にご尽力いただいている皆様と各診療科の執筆担当の先生に篤く御礼を申し上げます。

2003年10月に発刊された創刊号は、発行責任者が川和忠治病院長、編集責任者が佐藤裕二先生となっております。そして、第100号は2013年9月に発行され、当時病院長の私と高橋浩二先生が責任者でした。

いずれの歯科病院だよりにおきましても、1.患者さまの立場に立った医療の実践、2.安全かつ質の高い医療の提供、3.先進的な臨床研究の推進、4.社会に求められる歯科医師の

育成、5.地域機関との連携などの目標が掲げられ、その全ては、現在から未来においても我々の進むべき道を示し続けております。

振り返れば、一昨年からのコロナ禍の中、患者の皆様にもさまざまな苦労があったことと思われます。本歯科病院も、教育病院としての機能を封じ込められたまま、じっと耐え続けた月日は決して忘れることの出来ない辛いものでした。しかし、今では、全教職員に大きな困難を乗り越える自信も生まれたようにも感じられます。

本年は、より一層、さらに明るく輝く医療機関を目指します。

皆様のご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



飛躍 撮影者：大西

新年のご挨拶

昭和大学歯科病院 病院長 馬場 一美

新年、明けましておめでとうございます。
本年も宜しく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめとして、社会を取り巻く環境の変化は激しく、それらへの対応や10年後を見据えた改革など、多くの課題に昭和大学歯科病院は取り組んでおります。昨年、11、12月にはコントロールされているかに見えた新型コロナウイルス感染症ですが、新たな変異株の流入を端緒に、年明けからあっという間に拡大しすでに第6波に突入した感があります。日本や世界、ひいては人類の行く末はますます不透明感を増しているように見えます。しかし、未来は待つものではなく、創りだしていくものであるとの信念のもと、先進的な医療を高いレベルで皆様に提供するため、着実に必要な改革を進めて参りたいと思っております。

当院では1月下旬に正面玄関の改装工事を予定しており、その後、4階に初診患者専用の診療室を新たに設置する予定です。また年度内には3階に歯科恐怖症（治療中の痛みや音が怖くて歯科治療を受けられない）や嘔吐反射、全身的な健康状態などで歯科治療を避けていた方のために、眠っている間に治療が終わる静脈内鎮静法での治療を行う診療室を再整備し、大学病院ならではの機能を拡充する予定です。もちろん、皆様に安心して受診

していただけるよう、感染対策についても引き続き留意してまいります。エントランスでの検温や治療前の健康調査、手術前のPCRテストなど、ご不自由のかける点多々ありますがご理解頂ければ幸いです。



2022年は寅年です。勢いが盛んで行動力があふれていることのととえて、「虎は千里行って千里帰る」と言います。これは千里を走ったあとでも、巣穴にいる子どもを思って千里の道を帰ることから、親の子に対する強い愛情のととえてもあります。コロナに負けず活気に満ちて互いを思いやれる寅年にできたらと思います。



千束八幡神社にて、新年のご祈祷



- P1 巻頭言 新年のご挨拶 昭和大学 歯学部長 榎 宏太郎
- P2 新年のご挨拶 昭和大学歯科病院 病院長 馬場 一美
- P3 歯科治療トピック インプラント歯科
- P4 就任のご挨拶、患者満足アンケートお知らせ
編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、 ■ 医療機関向け、 ■ お知らせなど

歯科治療トピック インプラント歯科

インプラント歯科 診療科長補佐・講師 佐藤 大輔

「インプラント、名前は聞いたことがあるがよくわからない」、「興味があるがなんだか怖そう」、「どこで相談したら良いかわからない」という方もいらっしゃるかと思います。

昭和大学歯科病院インプラント歯科では、月～土曜日まで毎日予約制でインプラントに関するご相談をお受けしております（**インプラント歯科予約受付 03-5498-1903**）。

インプラント治療とは何か、他の方法よりも本当にインプラントの方が良いのかなど、一人一人の患者さんについてインプラント専門医が丁寧にご説明いたします。

インプラント治療は歯を失った部分の骨にインプラントを埋め込み、その上に歯を装着してお口の機能を回復させる治療です。

当院にも多くの患者さんが来院され、2019年度の総埋入本数は1155本、コロナ禍の2020年度も875本と多くの治療実績があります。当院で行うことができる特徴的なインプラント治療について簡単にご紹介させていただきます。

1. 静脈麻酔による恐怖感の少ない手術

インプラントを入れる際には、腕の血管からお薬を入れて（静脈麻酔）恐怖感の少ないリラックスした状態で手術を受けることができます。



インプラント治療の例 治療前



インプラント治療の例 治療後

2. オールオンフォーや即時荷重

インプラントを立体的にバランス良く埋めることにより、骨の移植を行うことなく、手術直後から固定式の仮歯を装着できる治療術式です。

3. サイナスリフト（上顎洞底挙上術）・骨移植

インプラントをするには顎の骨が足りない場合にも、骨を増やしてインプラントを入れることが可能にすることができます。

4. 他院でインプラントをしたが通院できなくなってしまった場合のリハビリやメンテナンス

インプラント治療後、重要なことは、治療後のメンテナンスを継続することです。通常は治療を行った医院でメンテナンスを行いますが、さまざまな事情により通院ができない場合は、当科にて継続したメンテナンスやリハビリを行っていくことが可能です。

5. 健康保険でのインプラント治療

インプラント治療は原則健康保険外ですが、腫瘍や外傷で広範囲に顎の骨を失った方、先天的な理由で永久歯が無い方は、健康保険が適用される場合があります。ご相談下さい。

就任のご挨拶

事務課 事務部長 小川 秀樹



この度、昭和大学歯科病院事務部長を拝命いたしました小川秀樹と申します。1977年の開院以来、約半世紀にわたり歯科医療の発展に貢献してきた歯科病院の伝統を重く受け止め、本職を拝命し身が引き締まる思いであります。

昭和大学の建学の精神は「至誠一貫」です。「常に相手の立場にたってまごころを尽くす。」を自ら体現し、患者さんや歯科医師会の先生方に愛され信頼される病院としてあり続け、更なる発展のため、微力ながら誠心誠意努力していく所存です。今後のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

就任のご挨拶

薬局 薬局長（薬学部 病院薬剤学講座 准教授）須永 登美子



令和4年1月1日より昭和大学歯科病院薬局長を拝命いたしました。私は、昭和大学薬学部卒業後、市中病院勤務を経て2013年より藤が丘病院に入職し、臨床・教育・研究に携わってまいりました。2020年に藤が丘病院の薬剤部長代行を拝命

し、この度歯科病院に異動となりました。

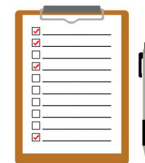
薬物治療は、年々高度化・多様化しており、安全な実施や質の高い薬物治療を提案するために、継続的な人材育成への取組みを強化していきたいと考えております。皆様のご期待に応えられるよう日々邁進していきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

患者さん満足度調査アンケートご協力のお願い

当院では、患者サービスの向上を図るため、患者さんの声をお聞かせいただきたく、「患者さん満足度調査」を実施いたします。

お手数ですが、アンケートのご記入にご協力くださるよう宜しくお願いいたします。

調査日時：1月29日（土）～2月4日（金）（日曜除く）



編集後記

コロナ禍の中に新しい年を迎えました。今年の干支は、壬寅（みずのえ・とら）で厳しい冬を乗り越えて、新しい成長が始まる年といわれています。世間は「オミクロン株」に翻弄されていますが、ワクチンの追加接種、飲み薬の効果に期待し、コロナとの戦いが終結するようお願いいたします。当院は、昨年に引き続き感染対策に努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。（T.K）

